

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	国内都市交流事業	事業番号	008-031
担当部署名	文化観光	局	文化国際
		部	文化
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
			有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(17)パートナーシップで目標を達成しよう		ターゲット	17.14 ,17.16		
			有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	昭和 61 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	東吉野村、種子島（西之表市、中種子町、南種子町）、田辺市	対象数	単位
			5	市町村
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	本市と国内友好都市等との行政各分野における交流を深めることにより、お互いのまちの発展に資することを目的とする。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	○本市行事等への受入 ・東吉野村小学生社会見学 ・堺まつりへの招待 ○友好都市行事への参加 ・種子島鉄砲まつり ・東大寺サミット		
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—		
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	—		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	国内友好都市の交流を深める						
	当該目標を設定した理由	国内友好都市の交流を深め、互いのまちを発展させるため。					
	目標に対する実績	令和5年度も各友好都市との交流を深めた。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	国内都市交流回数	回		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	5	5	5	
			実績値	4	5		
			達成率	80%	100%		
	当該指標を選定した理由	各友好都市との人的交流を継続・深化させることで、交流を深めることができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	各国内友好都市の祭り及び東吉野村の社会見学等を計上した。						

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	国内都市交流事業	事業番号	008-031
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	3	155	327	175	455
財源内訳	国支出金					0
	府支出金					0
	市債					0
	その他（ ）					0
	受益者負担金(使用料、手数料等)					0
	一般財源	3	155	327	175	455
14	人件費（b）	1,640	1,066	1,053	810	810
15	年間経費（c）=(a)+(b)	1,643	1,221	1,380	985	1,265

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	普通旅費	決算		154	154		決算			
		予算		272	272		予算			
	通信運搬費	決算		8	8		決算			
		予算		4	4		予算			
	有料道路通行料	決算		9	9		決算			
		予算		19	19		予算			
	堺まつり観光案内施設入場料	決算		4	4		決算			
		予算		10	10		予算			
	東大寺サミット開催負担金 （2年に1度開催）	決算		0	0		決算			
		予算		150	150		予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和4年度	令和5年度
	①	国内友好都市交流回数	回	4	5
	②	上記①にかかる年間経費	千円	155	175
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	38,750	35,000
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・令和5年度に関しては新型コロナウイルス感染症の5類移行後、4年ぶりに種子島鉄砲まつりが開催されたほか、堺まつりや東吉野村小学生社会見学の受け入れを行う等、双方の都市のより一層の活性化をめざした。また、西之表市の小学生に対し、オンライン授業を実施し互いの都市に対する理解を深めた。 ・令和6年度においても引き続き双方の都市の理解を深められるよう、事業効果の向上に努める。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・令和5年度における国内友好都市の交流は新型コロナウイルス感染症の5類移行後、制限のない交流を行い互いの都市の交流を深め、今後の継続的な交流の基盤を構築した。
----	--